

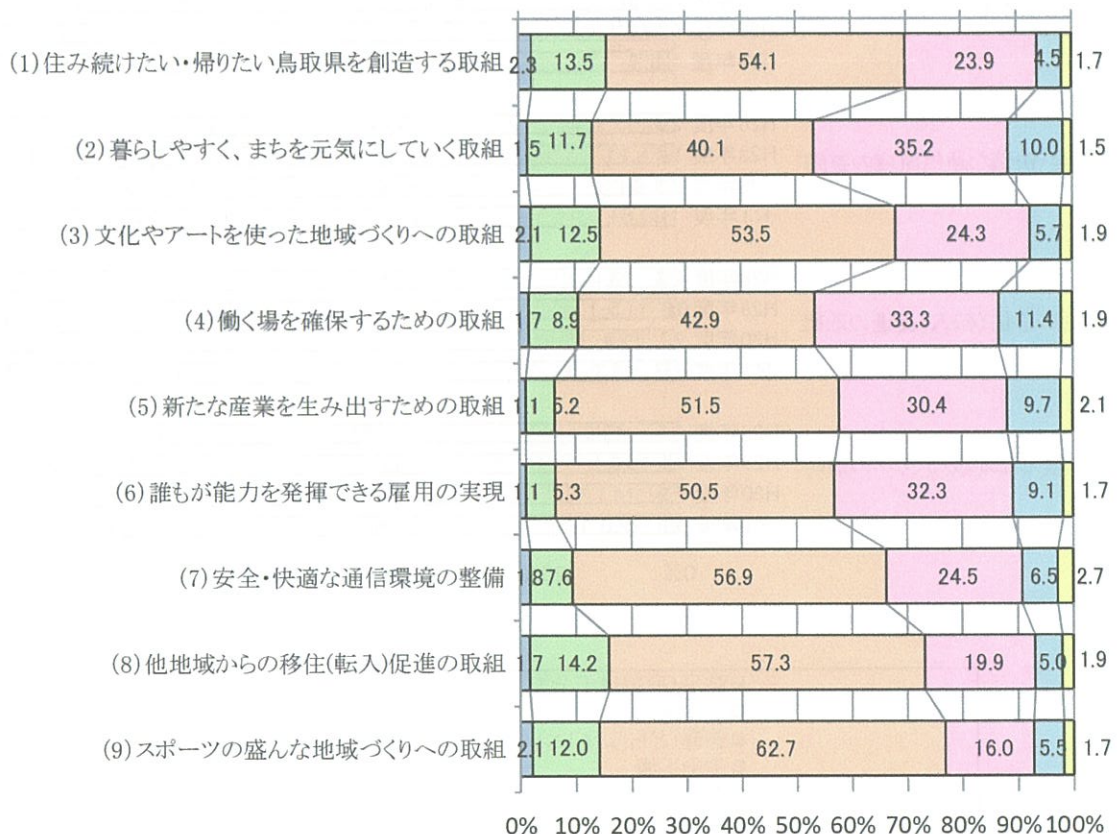
問 4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～移住定住の取組および、文化・スポーツ面の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「他地域からの移住(転入)促進の取組」が15.9%と最も割合が高く、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が15.8%、「文化やアートを使った地域づくりへの取組」が14.6%、「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が14.1%となっている。

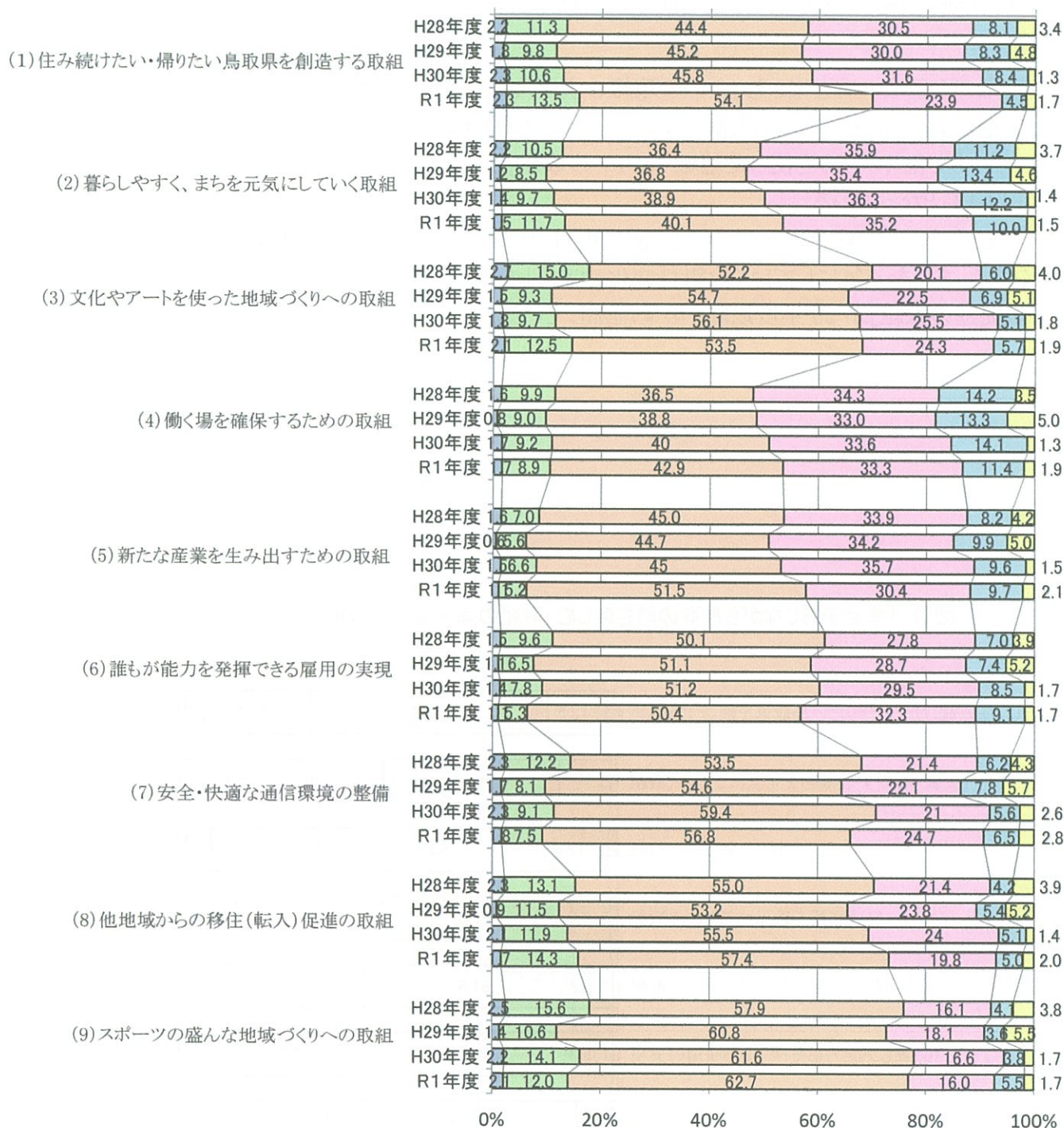
平成28年度-令和元年度を比較してみると、満足度は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「文化やアートを使った地域づくりへの取組」「他地域からの移住(転入)促進の取組」が29年度以降、年々増加している。

図17 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,500)



満足(取組は十分である、よくやっている)       やや満足  
 普通(どちらともいえない)                       やや不満  
 不満(取組は不十分である、努力する必要がある)       無回答

図18 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度



満足(取組は十分である、よくやっている)  
 やや満足  
 普通(どちらともいえない)  
 やや不満  
 不満(取組は不十分である、努力する必要がある)  
 無回答

問 4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

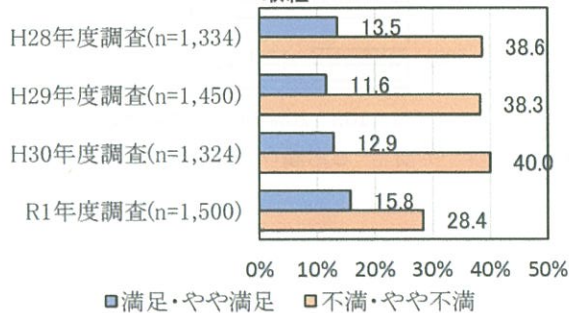
●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

- (3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組 【+3.1】
- (1) 住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組 【+2.9】
- (2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組 【+2.1】
- (8) 他地域からの移住(転入)促進の取組 【+2.0】

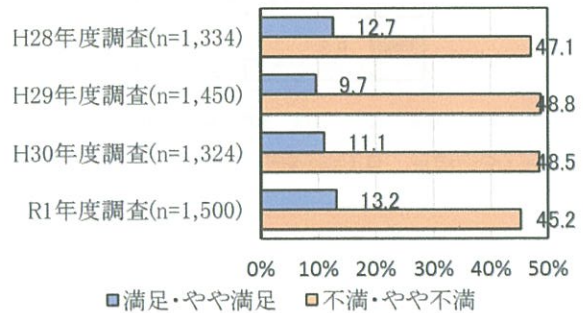
●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (7) 安全・快適な通信環境の整備 【+4.6】
- (6) 誰もが能力を發揮できる雇用の実現 【+3.4】
- (9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組 【+1.1】

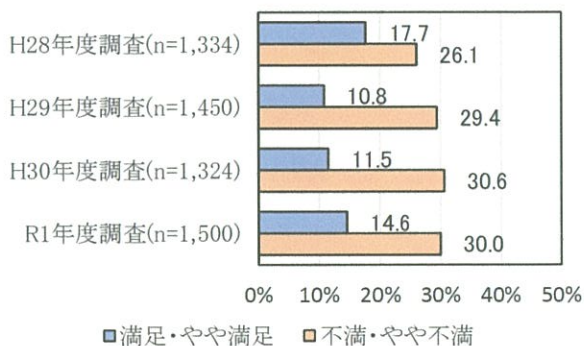
(1) 住み続けたい・帰りたい鳥取を創造する取組



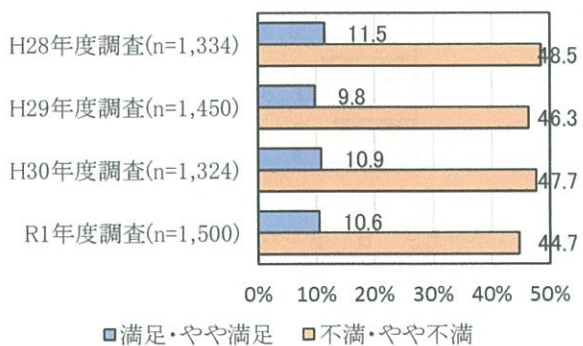
(2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組



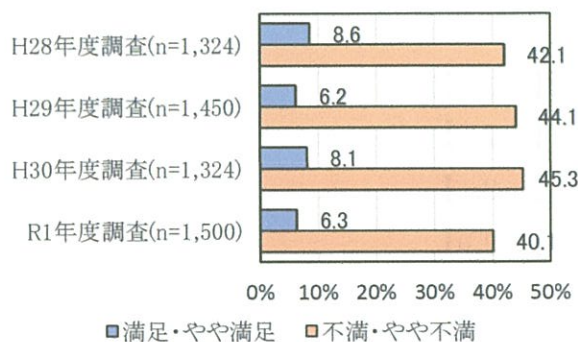
(3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組



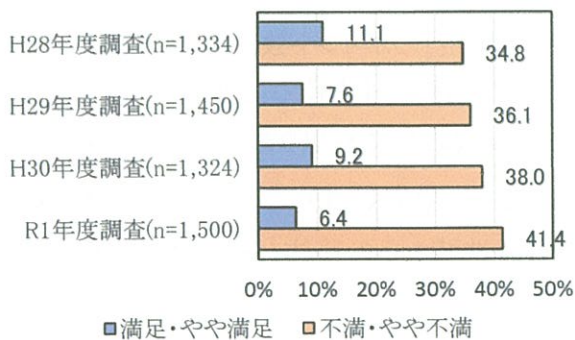
(4) 働く場を確保するための取組



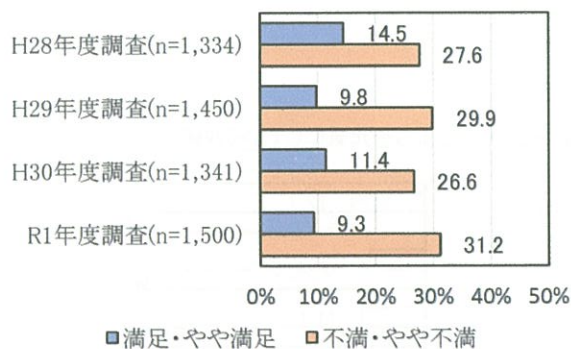
(5) 新たな産業を生み出すための取組



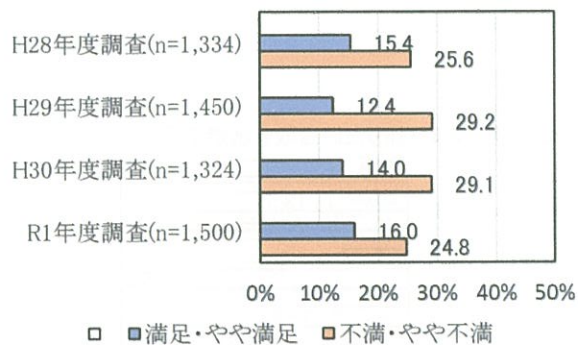
(6) 誰もが能力を発揮できる雇用の実現



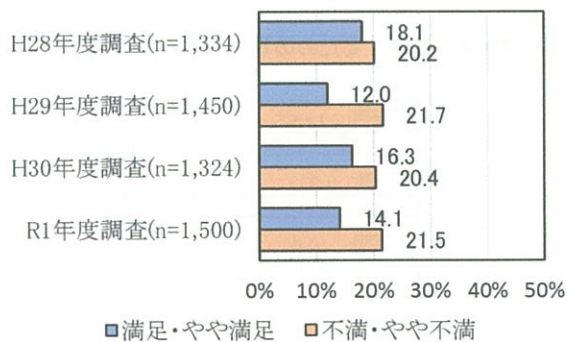
(7) 安全・快適な通信環境の整備



(8) 他地域からの移住(転入)促進の取組



(9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組



問 4-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目について、今後優先すべき(重要度が 高い)と思う項目を3つお選びください。

～「働く場を確保するための取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「働く場を確保するための取組」が61.1%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が54.5%、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が44.4%となっている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、「働く場を確保するための取組」は約6割台で推移しており、「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」は 28、29 年度で 30%前後だったが、30 年度以降は 34%台となり増加傾向にある。

また、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」は28年度以降毎年増加し、28年度比で元年度は 11.3ポイント増となっている。

性・年代別でみると、「働く場を確保するための取組」は男性の 40～60 歳代で割合が高く、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」は男性の 20 歳代、60 歳代、女性の 20 歳代、50 歳代で、「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」は女性の 20～30 歳代、70 歳以上で割合が高くなっている。

図19 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度

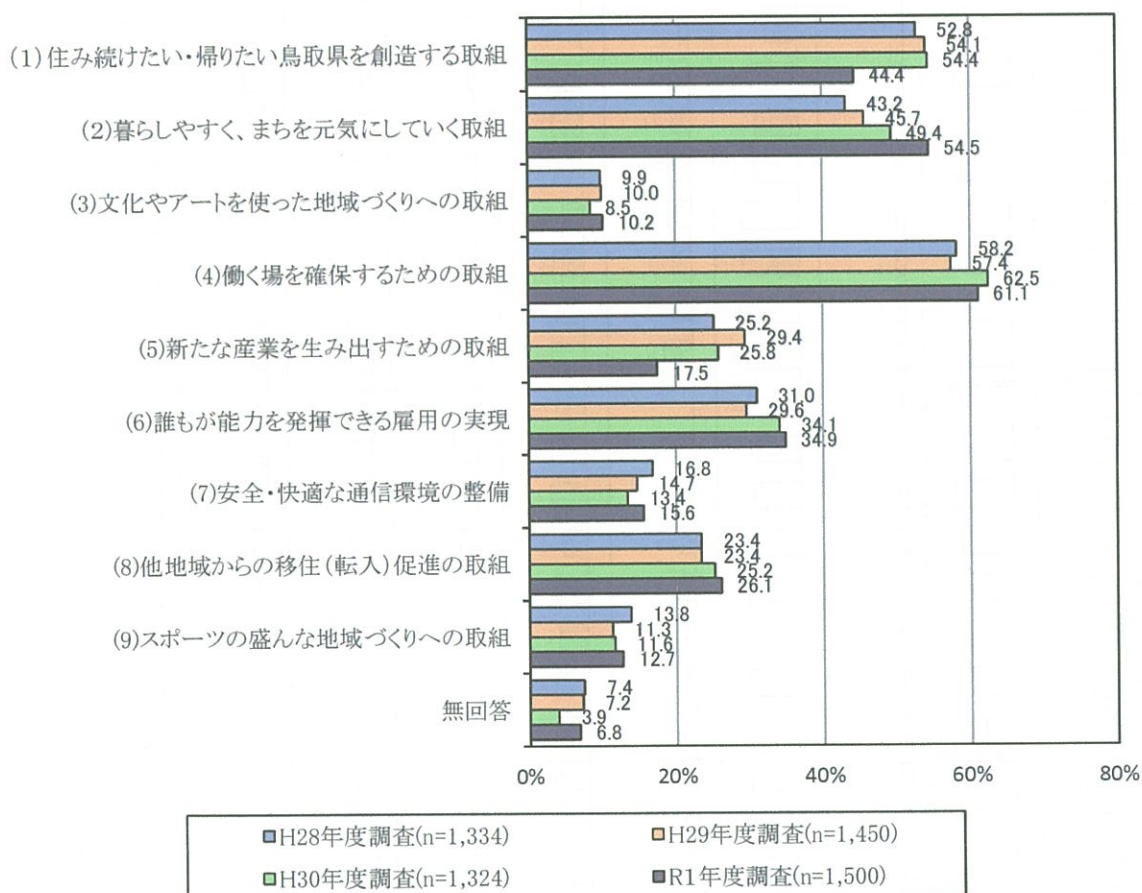
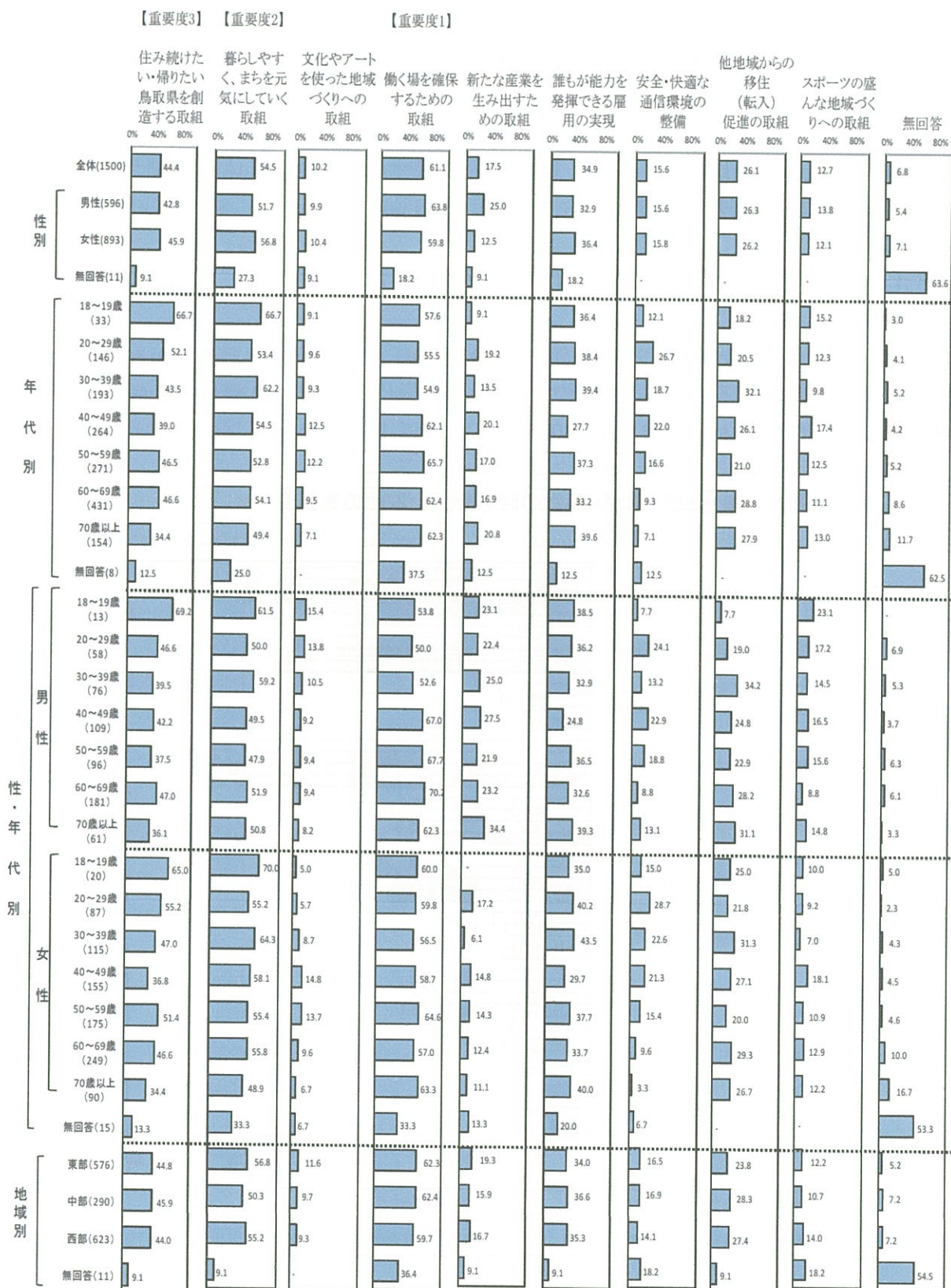


図 20 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)



#### 問 4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

～医療体制の強化や災害に強いまちづくりの満足度が上位～

「県政のさまざまな取組」についての満足度(満足・やや満足の計)は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が 29.2%と最も高く、次いで「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が 29.0%、「地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組」が 26.7%となっている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、満足度は「地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」が全ての年度で高い割合となっている。また、「健康を守り、医療体制を強くする取組」「人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現」を除く項目の満足度は 29 年度以降増加しており、特に「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「県内交通の高速化への取組」の今年度の満足度は大幅に伸びている。

図21 「県政のさまざまな取組」の満足度 (n=1,500)

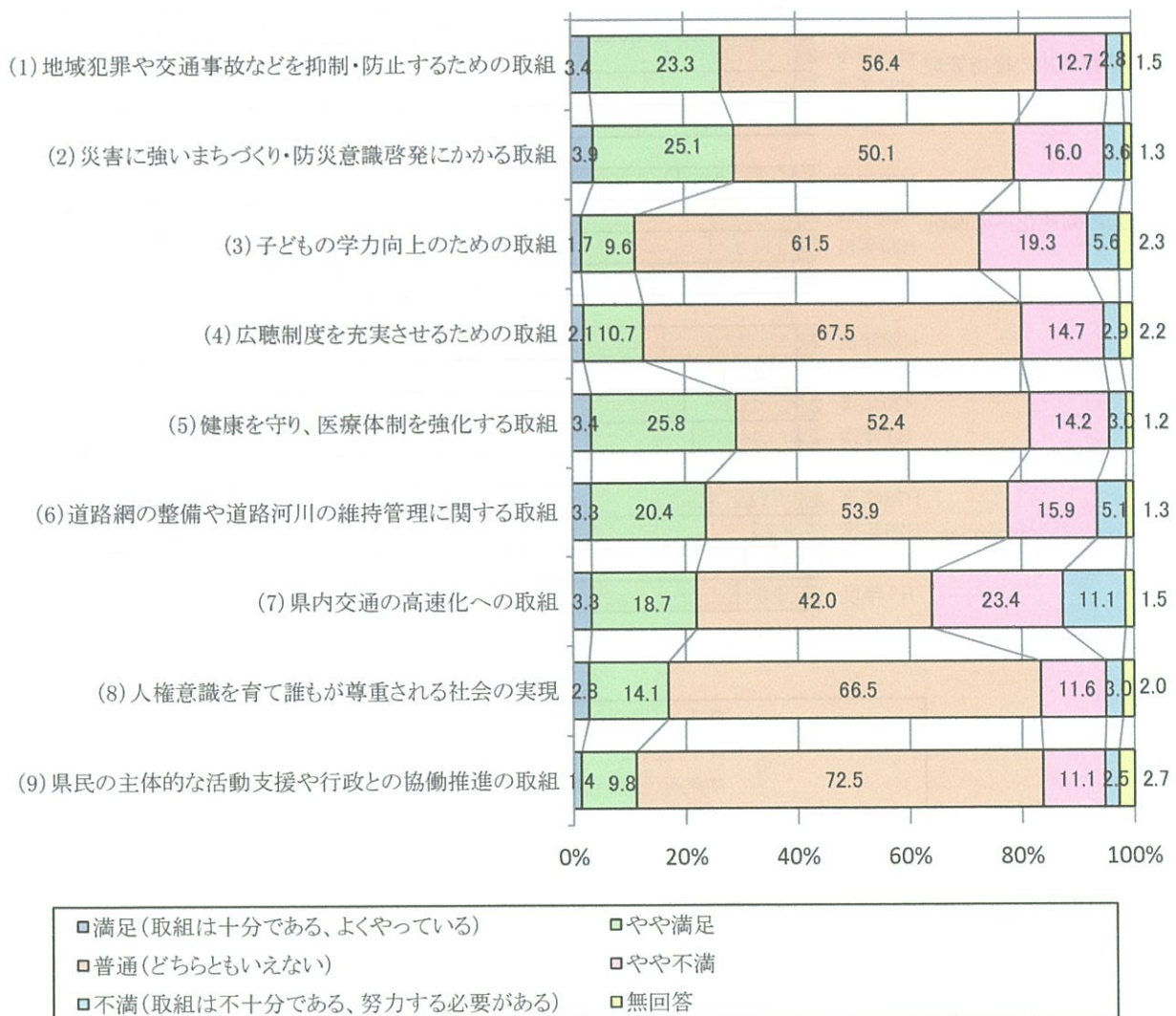
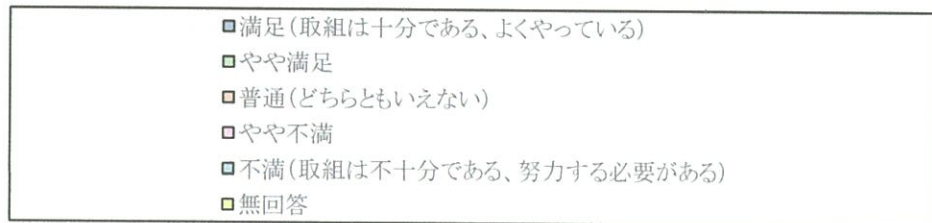
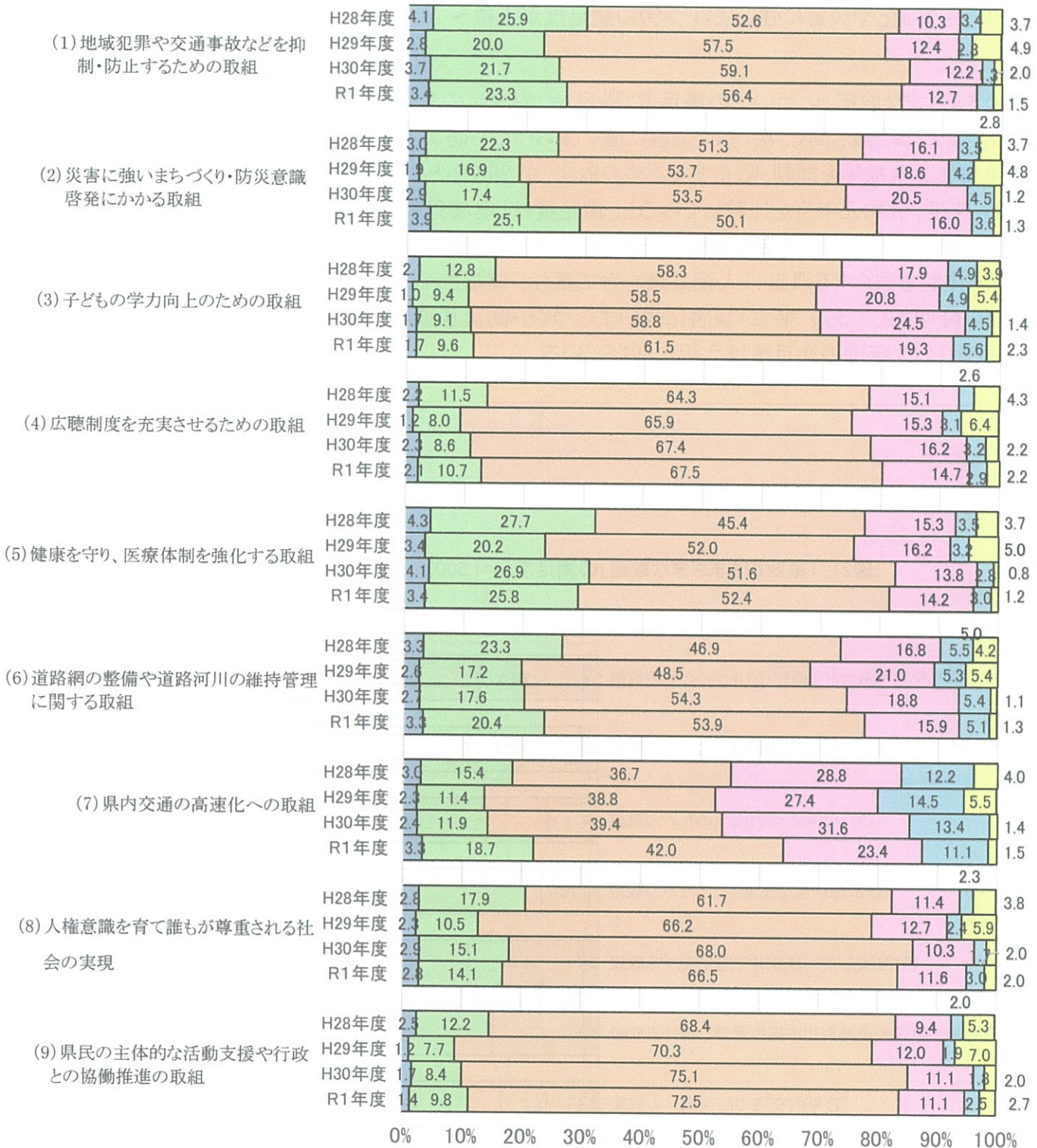


図22 「県政のさまざまな取組」の満足度





問 4-4-1 「県政のさまざまな取組」の満足度

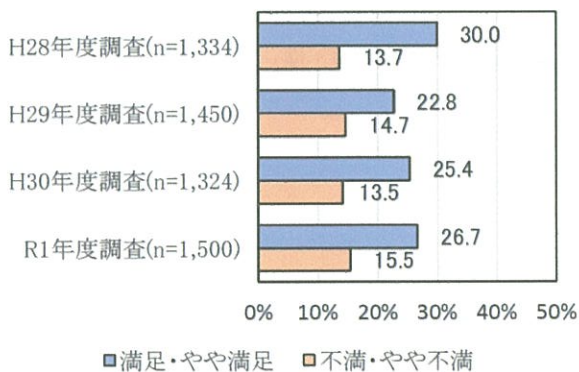
●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組	【+8.7】
(7) 県内交通の高速化への取組	【+7.7】
(6) 道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組	【+3.4】
(4) 広聴制度を充実させるための取組	【+1.9】
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組	【+1.3】
(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組	【+1.1】

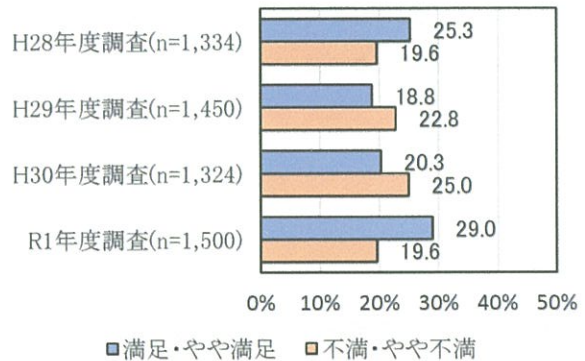
●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現	【+2.3】
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組	【+1.3】

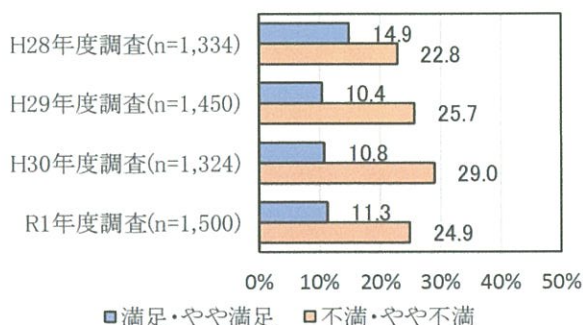
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組



(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組



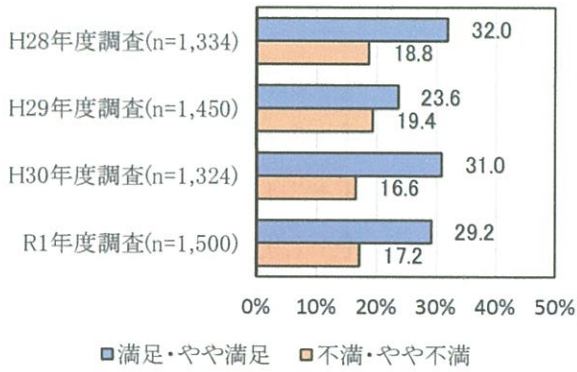
(3) 子どもの学力向上のための取組



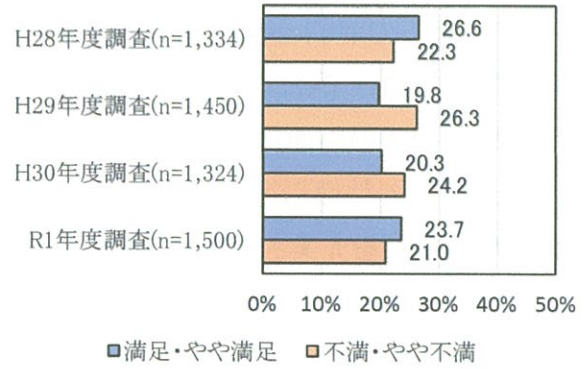
(4) 広聴制度を充実させるための取組



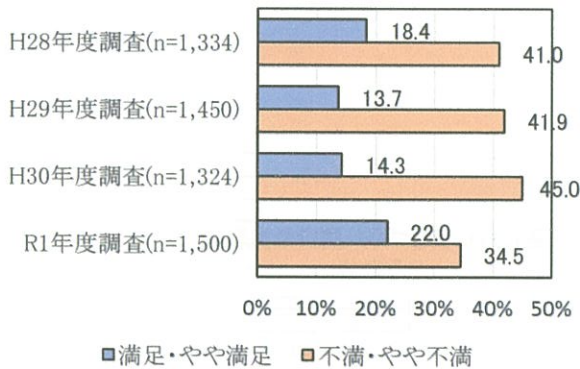
(5) 健康を守り、医療体制を強化する取組



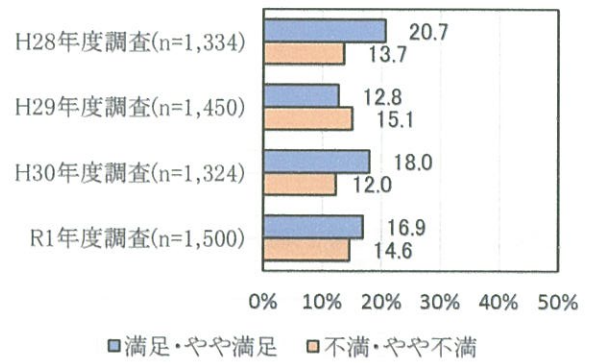
(6) 道路網の整備や道路・河川の維持管理に関する取組



(7) 県内交通の高度化への取組



(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現



(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組



問 4-4-2 「県政のさまざまな取組」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」

「健康を守り、医療体制を強化する取組」「県内交通の高速化への取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が50.7%と最も割合が高く、次いで「健康を守り、医療体制を強化する取組」が49.9%、「県内交通の高速化への取組」が41.5%となっている。

平成28年度-令和元年度を比較してみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」「県内交通の高速化への取組」は4～5割台で推移している。また、「健康を守り、医療体制を強化する取組」は30年度までは減少しているが今年度は増加となっている。

年代別でみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」は全ての年代で5割前後となっており、「県内交通の高速化への取組」は50歳代以下の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」は男性の50歳以上、女性の20歳代で割合が高くなっている。「健康を守り、医療体制を強化する取組」は男性の50～60歳代、女性の30～50歳代で割合が高くなっている。

図23 「県政のさまざまな取組」の重要度

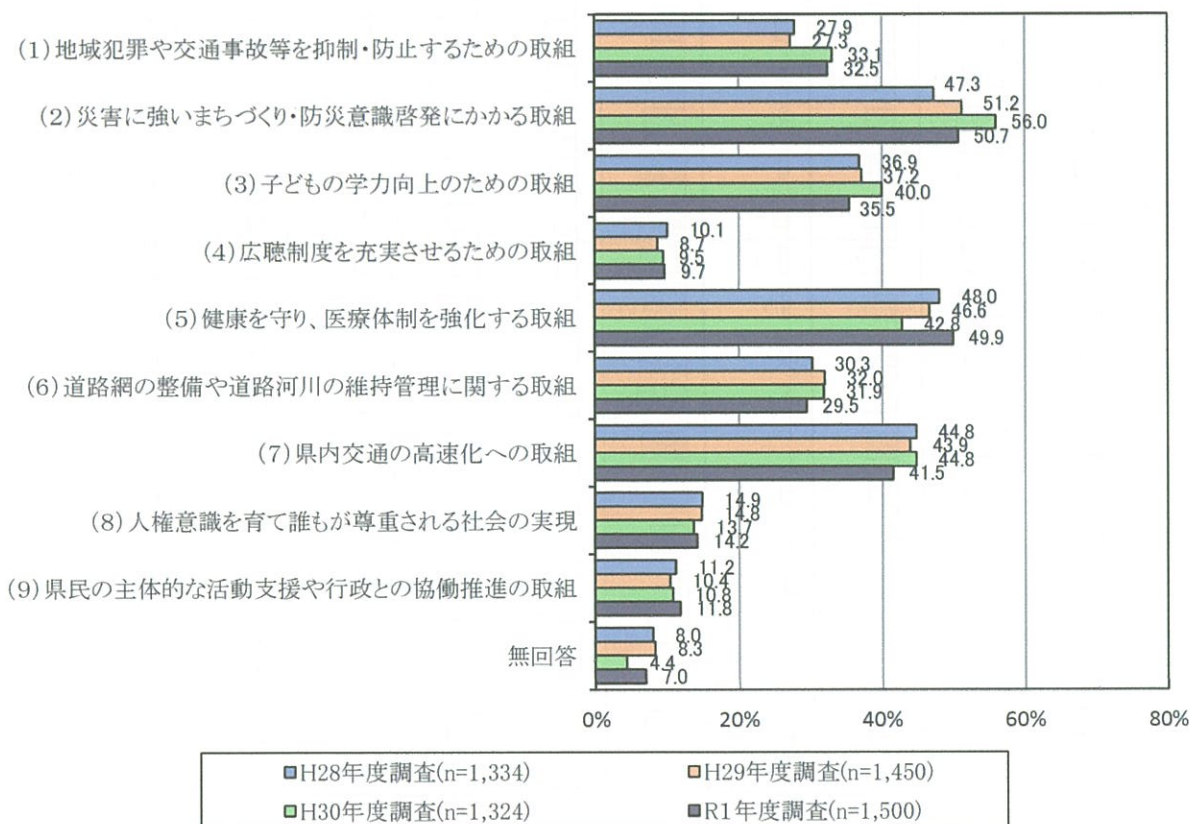


図 24 県政のさまざまな取組(今後優先すべき項目)

